Hondaカーオーディオ取扱説明書

デュアルサイズ CD/MD コンポ

WX-484M

このたびは、Honda純正用品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。
この取扱説明書は、ご使用の前によくお読み頂き大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。適用車種以外の車に取り付けた場合は一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
（商品の適用車種は販売店にご相談ください。）
- Honda車への取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

Honda Access

目次

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

ここを読めば、ひととおり操作できます。

共通の操作項目が書いてあります。

各ソースのいろいろな再生方法が書いてあります。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

「オーディオファイル」とは？

本書に書かれている「オーディオファイル」とは、CD-R/RWに記録されたMP3，WMA，AACファイルのことです。詳しくは「オーディオファイルについて」（➔40ページ）をご覧ください。

本書の読み方

●本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。
これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険
●指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠警告
●指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠注意
●指示に従わないと、軽傷をうける可能性があるもの

●当商品に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。
しっかりお読みください。

アドバイス
・当商品が故障、破損するのを防ぐためアドバイスを記載しています。
・異常事態の処置方法を記載しています。

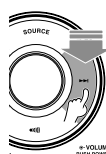
知　識
知っておいていただきたいこと、
知っておくと便利なこと
を記載しています。

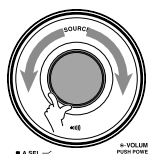
●ボタンとツマミの操作のしかた

短かく押す
ボタンをチョンと押すことを表します。

1秒以上押す
1秒以上（または0.5秒／2秒以上）押す操作を表します。

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。
このとき、操作確認音が鳴りますのでボタンから手を離してください。
押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。
図では、1秒間押すことを示しています。

押し続ける
ボタンを押し続けることを表します。

1.5秒以上（または0.5秒以上）ボタンを押して、押し続けているあいだ、機能することを表します。

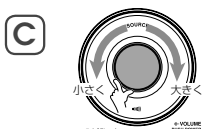
回す
ツマミを回すことを表します。

●図の見かた

操作のしかた

音量や音質の調節

音量を調節する

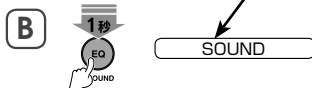
C

小さく　大きく

VOLUME

音量は00～40まで調節できます。

注意　安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

音質を調整する

音質の調整と前後左右のバランスを調整します。

1 サウンド調整モードにします

B　1秒　EQ SOUND

SOUND

"SOUND"と表示されるまで押し続けます。

2 調整項目を選択します

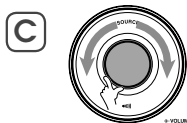
B　EQ SOUND

押すたびに、調整項目が次のように替わります。

BAS　バス
MID　ミドル
TRE　トレブル
FAD　フェダー
BAL　バランス
SVC　車速連動ボリューム

「イコライザーカー…コライザーを選択している場合は、BAS、MID、TRE の調整はできません。

3 値を調整します

C

調整項目	調整値
BAS(低音域の音量)	−6～ **±0** ～ +6
MID(中音域の音量)	−6～ **±0** ～ +6
TRE(高音域の音量)	−6～ **±0** ～ +6
FAD(前後の音量差)	R9(後)～**CTR**～F9(前)
BAL(左右の音量差)	L9(左)～**CTR**～R9(右)
SVC(車速連動ボリューム設定)	OFF / LOW / **MID** / HIGH

(太字は初期設定値)

仕様変更などにより、この本の内容と商品が一致しない場合もありますのでご了承ください。
本取扱説明書の表示は説明用に作成したものです。実際とは異なることがあります。

ご注意とアドバイス

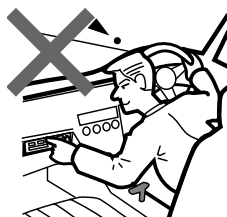
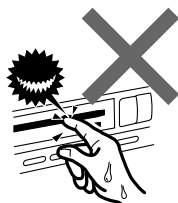
⚠ 危険

該当なし

⚠ 警告

該当なし

⚠ 注意

●運転者が走行中に操作する場合は安全運転に十分注意して操作してください。前方不注意により交通事故の原因となることがあります。

●CDやMD挿入口などに手や指を挟まれないよう注意してください。
CDやMD挿入口に、手や指を入れるとけがの原因になることがありますので差し込まないでください。

●適切な音量でお聴きください。
運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因になることがあります。

●AUX外部機器は運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

アドバイス

●エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの起動ができなくなる恐れがあります。

●CDやMD挿入口およびAUX端子に、コインなど異物を差し込まないでください。故障の原因になることがあります。

●絶対に水にぬらさないでください。
本機に、水・飲み物・雨などをかけないでください。発熱・感電・故障の原因となります。

●本機を分解したり、改造しないでください。
故障の原因となることがあります。

●ヒューズを交換するときは、必ず指定容量のヒューズを使用してください。
指定容量を超えるヒューズやヒューズ以外の物を使用すると、故障の原因になります。

●音が出ない、変なにおいがするなどの状態で使用し続けないでください。
そのまま使用を続けますと、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になる恐れがあります。このようなときはただちに使用をやめ、お買い上げの販売店にご相談ください。

知　識

●ラジオの受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

●バッテリー交換のときなど本機への電源供給が止まるとメモリーした内容は消えてしまいます。

●本機が動作中に、振動の激しい悪路や道路のつなぎ目などを走行すると、音飛びを起こすことがあります。

●長時間車を屋外に駐車する場合
真夏や真冬は、車内の温度が極度に変化していますので換気したり、暖房したりして、車内を適温にしてご使用ください。

●表示部に衝撃を加えたりすると、破損や変形など、故障の原因となります。

●表示部は、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。

●結露について
寒い車内を急に暖房したときなど、ユニット内部に結露が起こることがあります。結露がユニット内部で発生すると、ピックアップに水滴が付着し、レーザー光線が乱反射され正常に動作できなくなることがあります。このような場合は、CDやMDを取り出して乾燥させてください。1時間程度で結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。

●温度について
直射日光下で窓を閉めきっていると、車内は非常に高温になります。
本機内部が70℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDやMDの再生ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、再生ができる状態になります。

●万一異常が発生したときは、「アフターサービスについて」（→49ページ）の項をお読みになり修理を依頼してください。

CD の取り扱い

使用できないCD

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

●

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。

●

本機で再生可能なディスクはマークの入ったCDだけです。

著作権保護技術対応音楽CDは、本機では再生できない場合があります。

上記マーク以外のCD標準規格に合致しない特殊仕様のCD（各種コピーコントロールCD）は、弊社としては再生保証は致しかねます。

万が一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合は、CDの発売元にお問い合わせください。

●

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

●

反りやヒビがあるCDは使用しないでください。使用すると、音飛びや故障の原因となります。

●

読取り面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

●

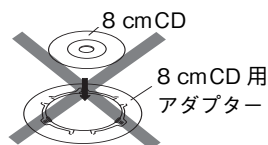
インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

●

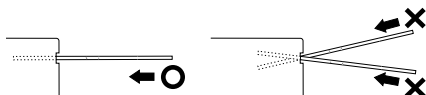
市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。

表示できる文字について

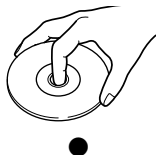
本機で表示できるCD TEXTの文字は半角英数文字です。MP3/WMA/AACの文字については「オーディオファイルについて」（→40ページ）をご覧ください。

CDの入れかた／出しかた

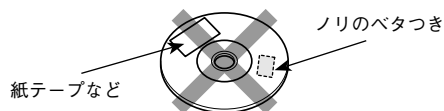
本機にCDを出し入れするときは水平方向に挿入または引き出してください。

下側または上側に強く押しながら出し入れするとCDの読取り面に傷を付ける原因となります。

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは読取り面に触れないようにしてください。
（レーベルが印刷されていない面が読取り面です。）

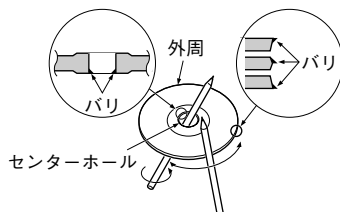
●

CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

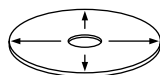
●

読取り面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。
“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽く拭き取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

CDの保存

直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

●

長期間再生しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

MDの取り扱い

Hi-MD ／データ用のMDについて

Hi-MD用ディスクやHi-MD形式でフォーマットしたディスク、データ用MDは使用できません。
マークのついた従来の音楽用のMDを使用してください。

表示できる文字について

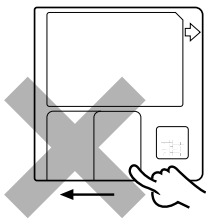
本機で表示できるトラックタイトルなどの文字と文字数は次のようになります。

表示できる文字	半角英数カナ文字 （漢字ひらがなタイトルは未対応です）
タイトルの文字数	128文字まで

ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

MDのシャッターについて

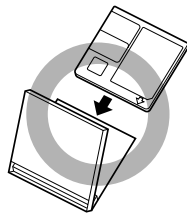
MDのシャッターは開けないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。
シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。

MDのお手入れ

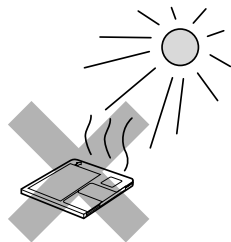
カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布で拭き取ってから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。
また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

レンズクリーナーについて

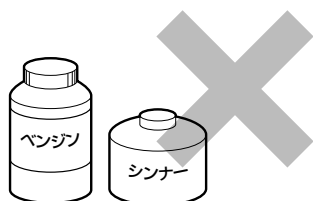
レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。

高温に注意

MDを直射日光のあたる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。

使用上のご注意

本機のお手入れについて

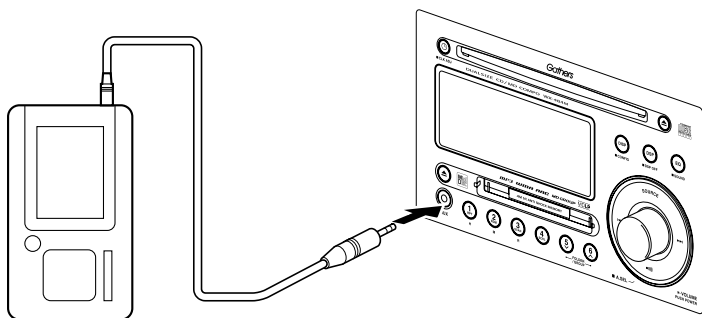
本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

●
CDやMD挿入口は、ホコリがたまりやすいので、時々掃除してください。

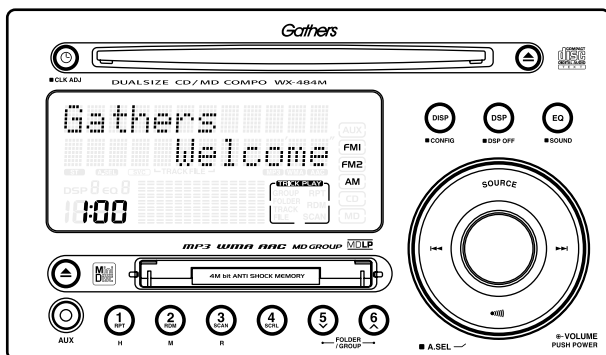
本機のお取り扱いについて

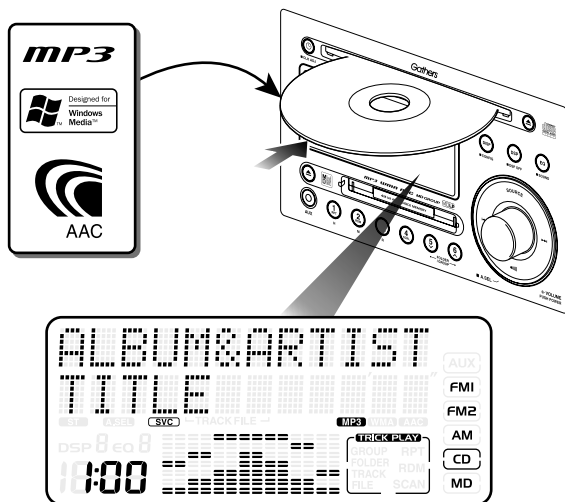
本機を分解したり、改造しないでください。
故障の原因となることがあります。

特長

外部入力（AUX）端子

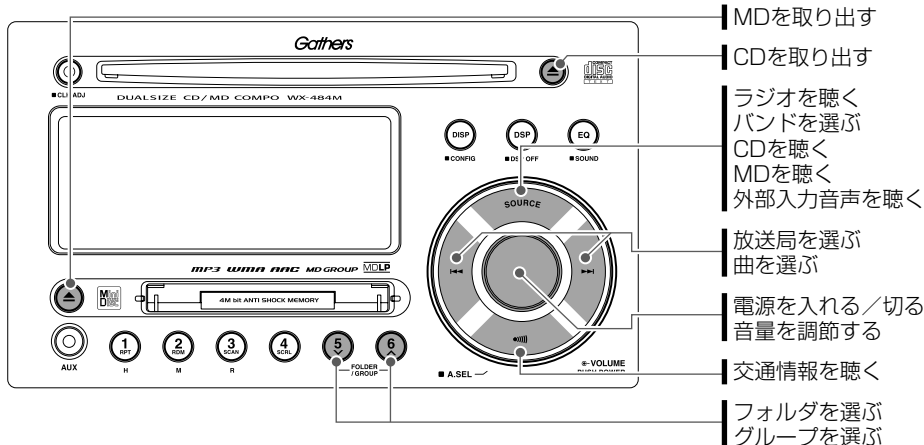
外部入力端子を操作パネルに配置したことで、デジタルオーディオプレイヤーなどのポータブルオーディオの音をスピーカーから聴くことができます。

青色間接照明

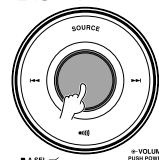
青色間接照明による光の演出と大型液晶の見やすい表示。

MP3/WMA/AACファイルの再生

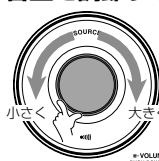
圧縮音楽のMP3、WMA(Windows Media™ Audio)およびAACのファイル形式で記録されたCD-R/RWの再生ができます。
また、MP3 ID3タグ、WMAタグとAACメタデータ（曲情報）のタイトル情報表示(英数カナ文字のみ)が可能です。

MDLPやMDグループの再生

通常のMDより長時間録音できるMDLP2モードとMDLP4モードの再生ができます。
また、グループ化されたMDからグループを選んで、選曲できるグループ機能を搭載しています。

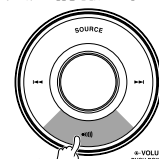
MDLP　MD GROUP

基本操作

共通操作

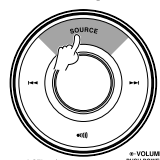
電源を入れる／切る

押すと電源が入ります。
もう一度押すと電源が切れます。
（→16ページ）

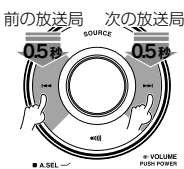
音量を調節する

回します。
（→16ページ）

注意 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

交通情報を聴く

押すと交通情報を受信します。
もう一度押すと元のソース（音源）に戻ります。
（→23ページ）

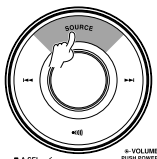
ラジオの操作

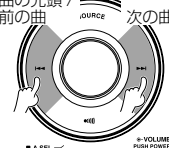
ラジオを聴く

押すたびに、ソース（音源）とバンドが次のように切り替わります。（→20ページ）

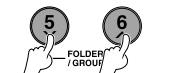
放送局を選ぶ

0.5秒以上押し続けて、操作確認音が鳴ったら離します。
受信状態の良い放送局を受信します。
（自動選局）
（→20ページ）

CDの操作

CDを聴く

CDのレーベル面を上にしてCDを挿入します。CDの再生が始まります。(→24ページ)

CDが入っているときは、"CD"と表示されるまで数回押します。(→24ページ)

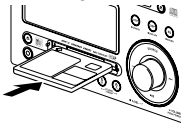
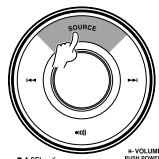
曲を選ぶ

押すたびに、曲が順番に替わります。(→25ページ)

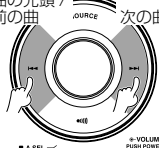
フォルダを選ぶ(オーディオファイル)

押すたびに、フォルダが順番に替わります。(→25ページ)

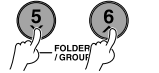
CDを取り出す

押すとCDが出てきます。(→25ページ)

MDの操作

MDを聴く

MDを図の向きで挿入します。MDの再生が始まります。(→28ページ)

MDが入っているときは、"MD"と表示されるまで数回押します。(→28ページ)

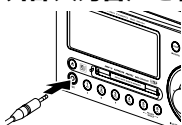
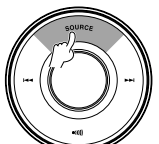
曲を選ぶ

押すたびに、曲が順番に替わります。(→29ページ)

グループを選ぶ(グループ登録済みMD)

押すたびに、グループが順番に替わります。(→29ページ)

MDを取り出す

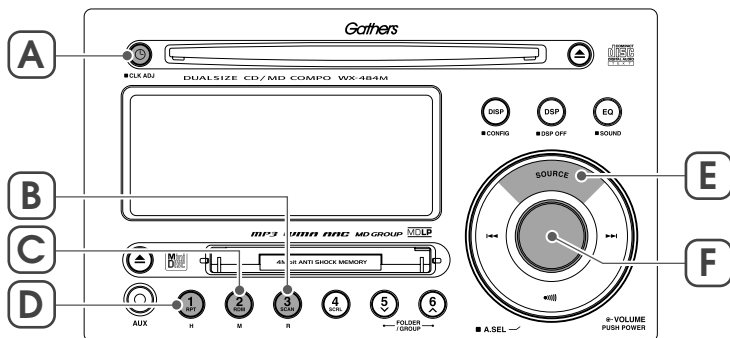
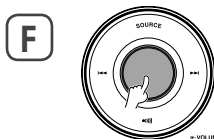
押すとMDが出てきます。(→29ページ)

AUXの操作

外部入力音声を聴く(AUX)

AUX端子にケーブルを接続します。外部機器の音声を聴けます。(→32ページ)

AUX端子にケーブルを接続しているときは、"AUX"と表示されるまで数回押します。(→32ページ)

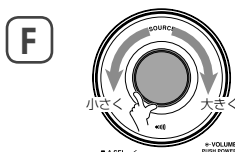
注意 AUX 端子に接続する機器の音量は最小にして接続後に調節してください。接続した機器の音量設定が大きいまま本機に接続すると、大きな音量で鳴る場合があります。

基本操作

電源を入れる／時刻の調整

電源を入れる／切る

押すと電源が入ります。
もう一度押すと電源が切れます。

オーディオの電源を切ったとき、下記項目をすべておこなうと表示部を消灯することができます。

1.「時計表示を切り替える」（→34ページ）で時計表示を消します。
2.「コンフィグ設定」（→38ページ）で“DEMO”項目を“OFF”に設定します。
3. CDとMDを取り出します。
4. AUX端子の接続を取り外します。

音量を調節する

VOLUME

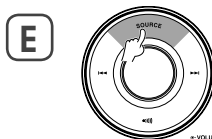
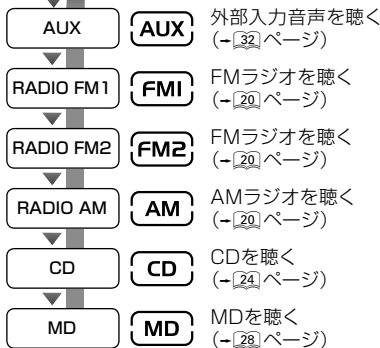
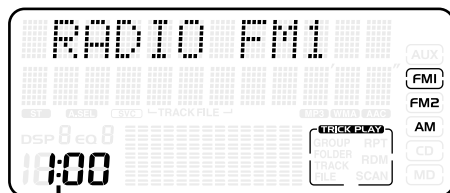
- 音量は00～40まで調節できます。
- AUXソースのみ音量を独立して調節します。AUX用の音量は、AUXソースに切り替えてから調節してください。

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- AUX端子に接続する機器の音量に注意してください。接続した機器の音量設定が大きいまま本機に接続すると大きな音量で鳴る場合があります。

ソース（音源）を選択する

押すたびに、ソースが次のように替わります。

ソース	表示	内容
AUX	AUX	外部入力音声を聴く（→32ページ）
RADIO FM1	FM1	FMラジオを聴く（→20ページ）
RADIO FM2	FM2	FMラジオを聴く（→20ページ）
RADIO AM	AM	AMラジオを聴く（→20ページ）
CD	CD	CDを聴く（→24ページ）
MD	MD	MDを聴く（→28ページ）

知識

- CD、MDはディスクを挿入していないと選択できません。
- AUXはAUX端子にケーブルを接続していないと選択できません。
- オーディオの電源がオフ中でもボタンを押すと電源がオンします。

時計表示

時刻を合わせる

時計表示の時刻を合わせます。

知識

- 時計を調整していないときは、時計表示全体が点滅し続けます。時計を調整してください。
- 点検や修理などでバッテリーを外した場合は、時計表示全体が点滅し続けます。時計を調整してください。
- 周囲の温度や長時間電源を入れないときなど、使用環境により時計の表示が現在時刻からずれる場合があります。その場合は時計の調整を行い正しい時刻に合わせてください。

1 時計調整モードにします

操作確認音が鳴るまで押し続けます。

2 時刻を合わせます

“時”を合わせる

“分”を合わせる

押すたびに秒が“00”秒からスタートします。
押し続けると、連続して変わります。

時報に合わせるときは…

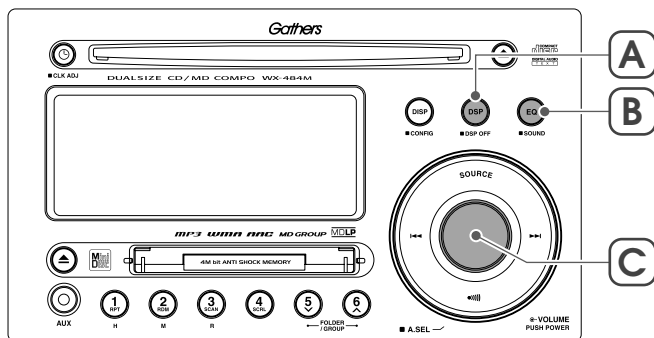
手順2のあとに

押すと00分00秒になり、時計調整モードを終了します。

例： 8:00〜8:29 ➡ 8:00
8:30〜8:59 ➡ 9:00

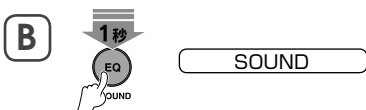
3 時刻合わせを終了します

知識

- 時計表示を消している場合は、時計調整ができません。時計を表示させてから操作してください。
- 時計調整モード中は4、5、6ボタンの操作ができません。

音質の調節

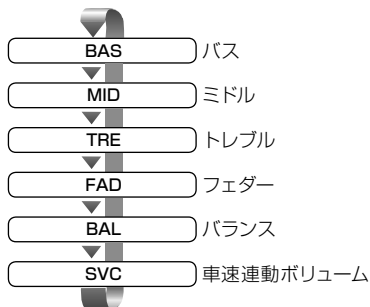
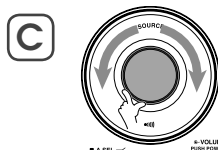
音質を調整する

音質の調整や前後左右のバランスを調整します。

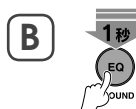
1 サウンド調整モードにします

SOUND

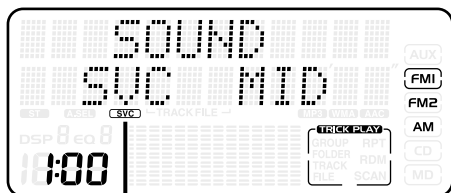
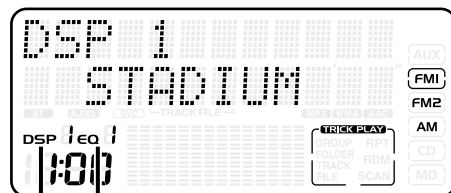
“SOUND”と表示されるまで押し続けます。

2 調整項目を選択します

押すたびに、調整項目が次のように替わります。

3 値を調整します

調整項目	調整値
BAS(低音域の音量)	−6～ **±0** ～ +6
MID(中音域の音量)	−6～ **±0** ～ +6
TRE(高音域の音量)	−6～ **±0** ～ +6
FAD(前後の音量差)	R9(後)～**CTR**～F9(前)
BAL(左右の音量差)	L9(左)～**CTR**～R9(右)
SVC(車速連動ボリューム設定)	OFF / LOW / **MID** / HIGH

(太字は初期設定値)

4 サウンド調整モードを終了します

1秒以上押し続ける、または7秒間以上何も操作しないと、サウンド調整モードが終了します。

- 「イコライザーカーブを呼び出す」(→19ページ)でイコライザーを選択している場合は、“BAS”、“MID”、“TRE”項目の選択はできません。
- “SVC”項目をLOW、MID、HIGHに設定すると“SVC”インジケーターが点灯します。
- “SVC”機能について「用語」(→42ページ)をご覧ください。

イコライザーカーブを呼び出す

ジャンル別に設定された音質を呼び出します。

EQUALIZER

押すたびに、イコライザーカーブが次のように替わります。

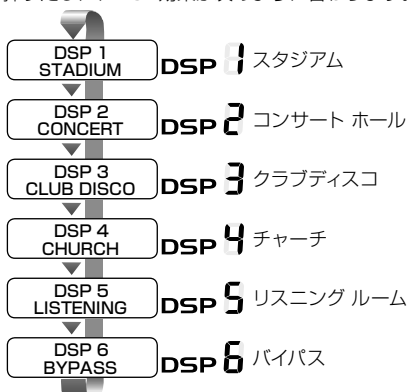
知識

- “EQUALIZER OFF”は「音質を調整する」(→18ページ)の“BAS”、“MID”、“TRE”項目で調整した音質になります。
- 初期設定は“EQUALIZER OFF”です。
- 交通情報モード中は設定できません。

DSP効果を呼び出す

DSP

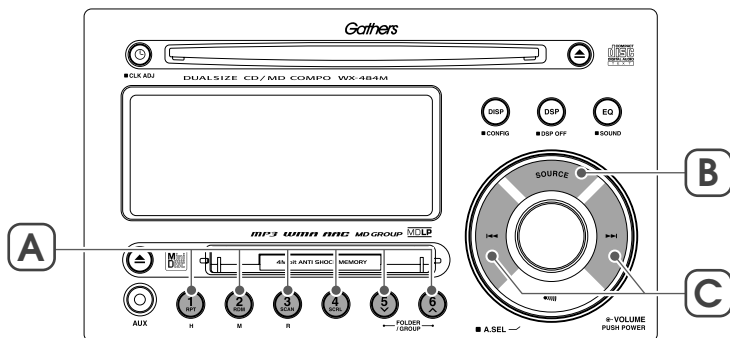
押すたびに、DSP効果が次のように替わります。

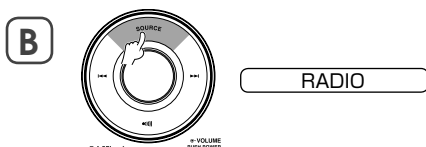
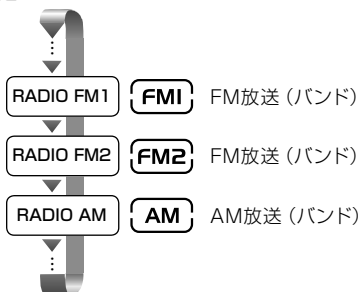
DSP 1 STADIUM	DSP 1	スタジアム
DSP 2 CONCERT	DSP 2	コンサート ホール
DSP 3 CLUB DISCO	DSP 3	クラブディスコ
DSP 4 CHURCH	DSP 4	チャーチ
DSP 5 LISTENING	DSP 5	リスニング ルーム
DSP 6 BYPASS	DSP 6	バイパス

DSP効果を解除するには…

“DSP OFF”と表示されるまで押し続けます。

知識

- 初期設定は“DSP OFF”です。
- 交通情報モード中は設定できません。

ラジオを聴く

ラジオモードにする

FM放送やAM放送の受信するバンドを選び、ラジオモードにします。

押すたびに、ソースが次のように替わり、バンドを選びます。

知識
FM1またはFM2選択時にFMステレオ放送を受信するとステレオ放送受信（“ST”）インジケーターが点灯します。

放送局を選ぶ

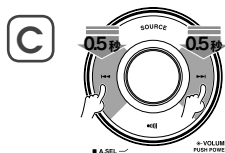
受信する放送局を選びます。（チューニング）

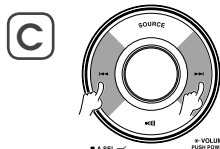
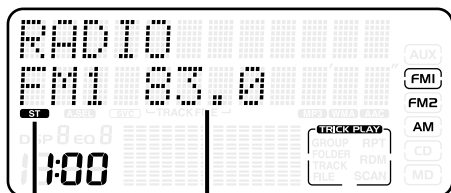
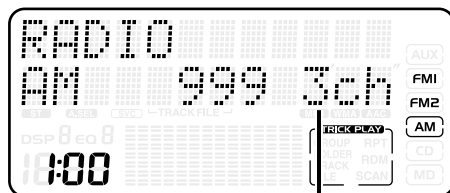
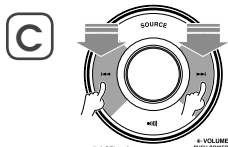
1 FM1、FM2またはAMを選びます

前記の「ラジオモードにする」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

操作により３種類の選局方法があります。

自動選局

0.5秒以上押し続けて、操作確認音が鳴ったら離します。受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

手動選局（１ステップずつ替える）

押すたびに、周波数が１ステップずつ替わります。

手動選局（連続して替える）

1.5秒以上押し続けると、押している間、周波数が連続して替わります。

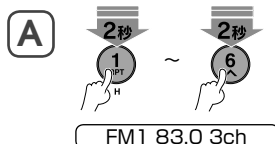
好みの放送局を登録する

受信中の放送局をプリセットボタンに登録します。（プリセットメモリー）

1 放送局を選びます

前記の「ラジオモードにする」と「放送局を選ぶ」を参照して放送局を受信します。

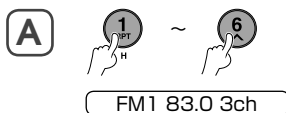
2 登録するボタン(1～6のいずれか)を選びます

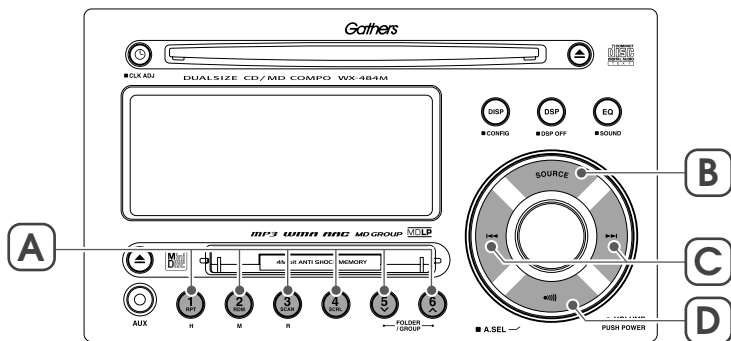
FM1 83.0 3ch

操作確認音が鳴るまで押し続けます。

- FM1、FM2、AMの各バンドに、それぞれ最大6局まで登録できます。
  FM12局、AM6局の合計18局まで登録できます。
- 電源供給が止まると（バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど）、登録した内容は消去されます。

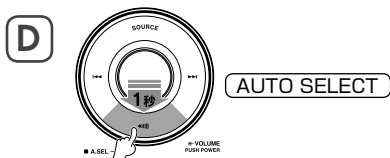
登録した放送局を呼び出す

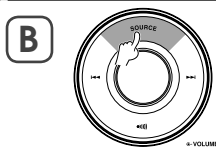
プリセットボタンに登録した放送局を呼び出します。

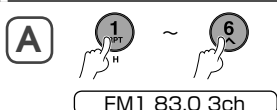
FM1 83.0 3ch

登録されている放送局が呼び出されます。

ラジオを聴く

放送局を自動で登録する（オートセレクト：A.SEL）

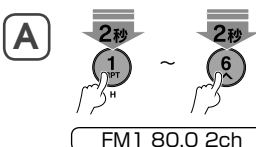
受信状態の良い放送局を自動的に登録します。

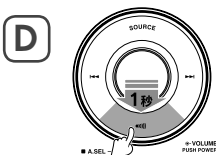
1 オートセレクトを開始します

ラジオモード中に“AUTO SELECT”と表示されるまで押し続けます。“A.SEL”インジケーターが点滅して選局が始まります。
選局が完了すると“A.SEL”インジケーターが点灯して、最も受信状態の良い放送局を受信します。

2 呼び出したいバンドを選びます

「ラジオモードにする」（→20ページ）を参照してバンドを選びます。

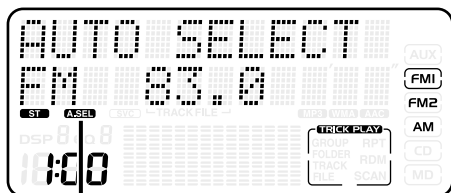
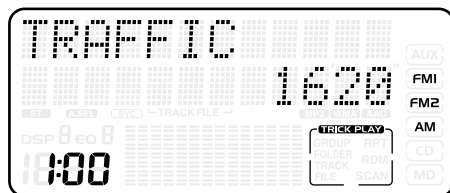
3 放送局を呼び出します

〜
押したボタンの番号が表示され、登録されている放送局が呼び出されます。

登録された放送局を変更するには…

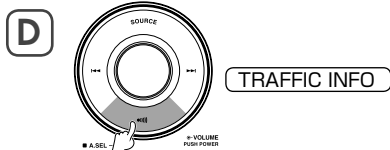
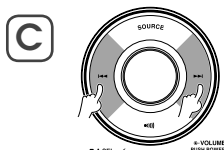
「ラジオモードにする」と「放送局を選ぶ」（→20ページ）を参照して登録したい放送局を受信しておきます。

操作確認音が鳴るまで押し続けます。

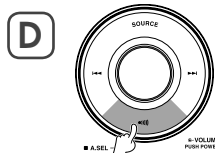
4 オートセレクトを解除します

“A.SEL”インジケーターが消灯して、オートセレクトを開始する前の放送局に戻ります。

知識

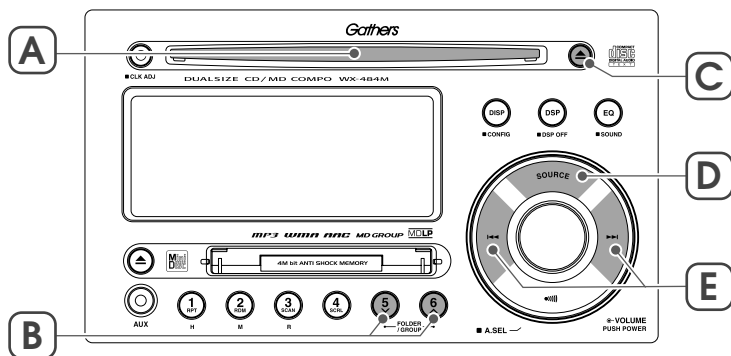
- 自動的に受信状態の良い放送局が最大FM12局、AM6局まで順に登録されます。FMは受信状態の良い順に、上位6局をFM1バンド、次の6局をFM2バンドに登録されます。
- 放送局が登録されていない場合は、“----”と表示されます。
- 「好みの放送局を登録する」（→21ページ）のプリセットメモリーとは別にオートセレクト用として登録されます。
- オートセレクトを解除すると、オートセレクトで登録した放送局は消去されます。オートセレクトを開始する前の放送局を呼び出します。
- 電源供給が止まると（バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど）、登録した内容は消去されます。

交通情報を聴く

どのソース（音源）モードからでも簡単に交通情報放送を聴くことができます。

1 交通情報モードにします

2 交通情報の周波数を替えます

押すたびに、周波数が切り替わります。

3 交通情報モードを終了します

元のソースに戻ります。

- 交通情報モード中は前記以外の周波数には替わりません。
- 初期設定は“1620kHz”です。
- 交通情報モード中は、DSPおよびイコライザーはオフになります。
- オーディオの電源がオフ中でも交通情報モードにすることができます。
- 交通情報モード中にエンジンスイッチまたはオーディオの電源をオフにすると、交通情報モードは解除されます。

CDやオーディオファイルを聴く

CDやオーディオファイルを聴く

CDが入っていないとき

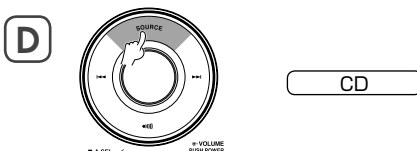
CD

CDのレーベル面を上にしてCDを挿入します。
CDの再生が始まります。
MP3/WMA/AACを記録したメディアの場合はオーディオファイルの再生が始まります。

- 8cmCDもそのまま挿入できます。8cmCD用アダプターは使用しないでください。8cmCD用アダプターを使用するとCDが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。
- すでにCDが入っているときに、さらにCDを入れないでください。無理にCDを入れるとCDに傷が付いたり、CDが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

- オーディオファイルを再生中はファイルの種類に合わせて“MP3”、“WMA”および“AAC”インジケーターが点灯します。
- MP3/WMA/AACメディアを挿入すると、最初にディスク内すべてのファイルを確認するため、再生が始まるまで時間がかかります。ファイルの確認中は“READING”と表示します。
- 再生できるMP3/WMA/AACメディアや、フォーマット、書き込み方法の注意などが「オーディオファイルについて」（→40ページ）に記載してあります。メディアを作成する前にご覧ください。

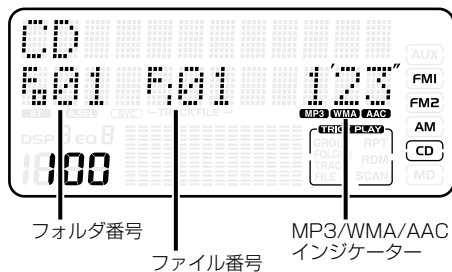
CDが入っているとき

CD

“CD”と表示されるまで数回押します。
CDの再生が始まります。

CDが入っているとCDインジケーターが点灯します。

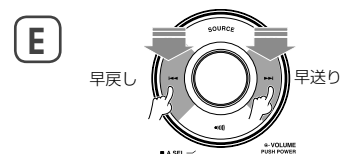
再生中の表示について

CDを取り出す

EJECT

CDが出てきます。

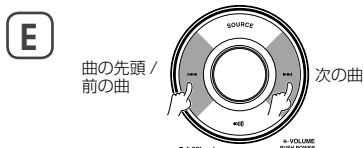
- CDモードにする前のソース（音源）モードに戻ります。
- 他のモード中や電源オフ中でもCDを取り出すことができます。
- 排出状態でCDを取り出さない状態のまま約10秒経過するとCDが引き込まれます。

早送り／早戻し

現在再生中の曲を早送り／早戻しします。
（マニュアルサーチ）

押している間、早送り／早戻しされます。
ボタンを離すと再生が始まります。

- オーディオファイルを再生しているときは、マニュアルサーチ中に音は出ません。
- AACファイルでは、早送り／早戻しできません。

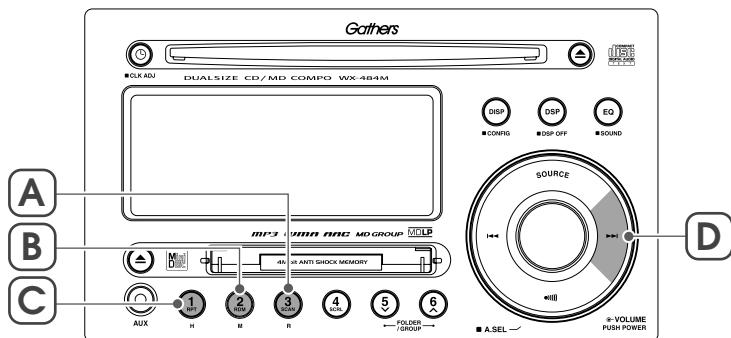
曲を選ぶ

音楽CDまたはフォルダ内の曲を順に選びます。
（トラック／ファイルサーチ）

押すたびに、曲が順番に替わります。

フォルダを選ぶ
（オーディオファイルのみ）

フォルダを順に選びます。（フォルダサーチ）

押すたびに、フォルダが順番に替わります。

CD/オーディオファイルを聴く

曲を繰り返し聴く

現在聴いている曲を繰り返し再生します。
（トラック／ファイルリピートプレイ）

音楽CD時
TRACK RPT

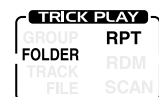
オーディオファイル時
FILE RPT

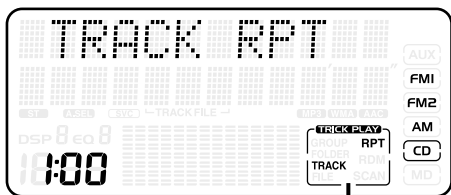
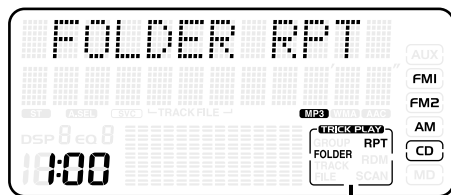
押すたびに、トラック／ファイルリピートプレイがオン／オフされます。
トラック／ファイルリピートプレイをオンにするとトリックプレイインジケーターが点灯します。

- トラック／ファイルリピートプレイを解除するとトリックプレイインジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。
- トラック／ファイルリピートプレイは下記の操作を行うと解除されます。
  - トラック／ファイルサーチ、マニュアルサーチ、またはフォルダサーチを行う。
  - フォルダリピートプレイ、ランダムプレイまたはスキャンプレイを行う。
  - CDを取り出す。

フォルダ内の曲を繰り返し聴く
（オーディオファイルのみ）

現在聴いているフォルダ内の曲を繰り返し再生します。（フォルダリピートプレイ）

FOLDER RPT

１秒以上押すたびに、フォルダリピートプレイがオン／オフされます。
フォルダリピートプレイをオンにするとトリックプレイインジケーターが点灯します。

- フォルダリピートプレイを解除するとトリックプレイインジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。
- フォルダリピートプレイは下記の操作を行うと解除されます。
  - フォルダサーチを行う。
  - トラック/ファイルリピートプレイ、ランダムプレイまたはスキャンプレイを行う。
  - CDを取り出す。

トリックプレイインジケーター

トリックプレイインジケーター

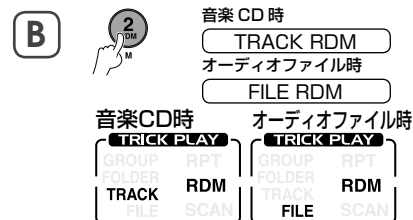
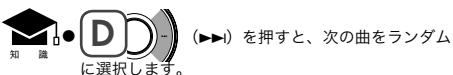
曲をランダムに聴く

音楽CD内またはフォルダ内の曲をランダムな順で再生します。（ランダムプレイ）

音楽 CD 時

TRACK RDM

オーディオファイル時

FILE RDM

押すたびに、ランダムプレイがオン／オフされます。ランダムプレイをオンにするとトリックプレイインジケーターが点灯します。

- （▶▶I）を押すと、次の曲をランダムに選択します。
- オーディオファイル時は、現在再生しているフォルダからランダムプレイを開始します。フォルダ内の全曲を再生すると、次のフォルダ内の曲をランダムな順で再生します。
- ランダムプレイを解除するとトリックプレイインジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。
- ランダムプレイは下記の操作を行うと解除されます。
  - フォルダサーチを行う。
  - トラック/ファイルリピートプレイ、フォルダリピートプレイまたはスキャンプレイを行う。
  - CDを取り出す。

曲を探す

音楽CD内またはフォルダ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつ再生して曲を探します。
（スキャンプレイ）

1 スキャンプレイを開始します

音楽 CD 時

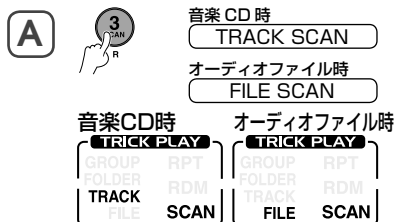
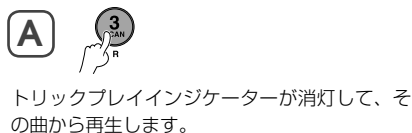
TRACK SCAN

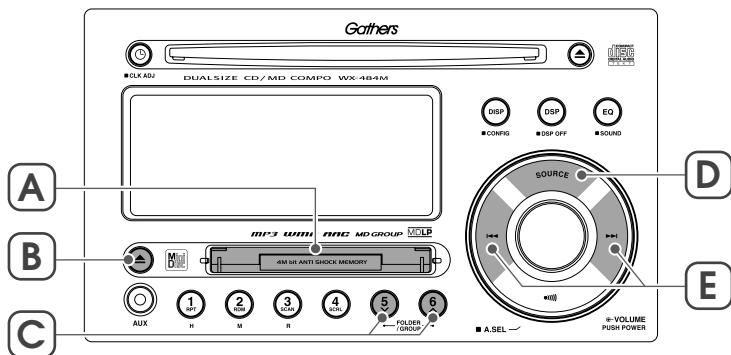
オーディオファイル時

FILE SCAN

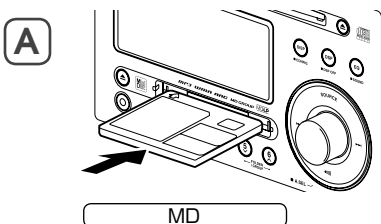
トリックプレイインジケーターが点灯して、スキャンプレイが始まります。

2 聴きたい曲のところで…

トリックプレイインジケーターが消灯して、その曲から再生します。

- 音楽CD内またはオーディオファイルではフォルダ内の全曲をスキャンプレイすると通常の再生に戻ります。
- スキャンプレイは下記の操作を行うと解除されます。
  - トラック／ファイルサーチ、フォルダサーチまたはマニュアルサーチを行う。
  - トラック/ファイルリピートプレイ、フォルダリピートプレイまたはランダムプレイを行う。
  - CDを取り出す。
  - ソースモードを替える。
  - 電源を切る。

MDを聴く

MDを聴く

MDが入っていないとき

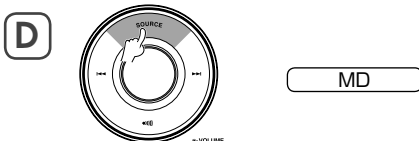
MD

MDのシャッターを右側にしラベル面を上側にして、矢印の方向に挿入します。
MDの再生が始まります。

アドバイス
すでにMDが入っているときに、さらにMDを入れないでください。無理にMDを入れると故障の原因になります。

知識

- “MDLP” フォーマットで録音したMDもプレイすることができます。
- 本機はMDグループ機能を搭載しています。詳しくは、「MDグループについて」（→41ページ）をご覧ください。

MDが入っているとき

MD

“MD”と表示されるまで数回押します。
MDの再生が始まります。

知識
MDが入っているとMDインジケーターが点灯します。

再生中の表示について

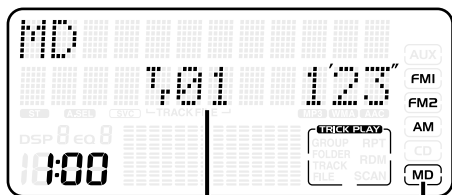
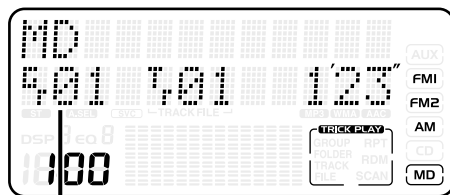
MDグループ登録なし時

MDグループ登録あり時（グループ機能オン）

トラック番号が100トラック以上の時

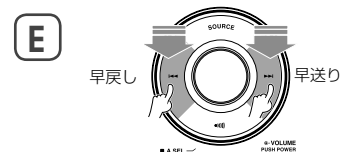
演奏時間が100分以上の時

MDを取り出す

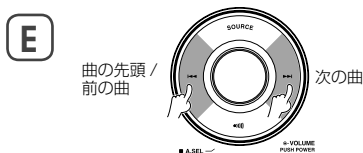
EJECT

MDが出てきます。

- MDモードにする前のソース（音源）モードに戻ります。
- 他のモード中や電源オフ中でもMDを取り出すことができます。

早送り／早戻し

現在再生中の曲を早送り／早戻しします。
（マニュアルサーチ）

押している間、早送り／早戻しされます。
ボタンを離すと再生が始まります。

曲を選ぶ

曲を順に選びます。（トラックサーチ）

押すたびに、曲が順番に替わります。

知識 MDグループ機能を使用して再生していると、曲を選べない場合があります。詳しくは、「MDグループについて」（→41ページ）をご覧ください。

グループを選ぶ

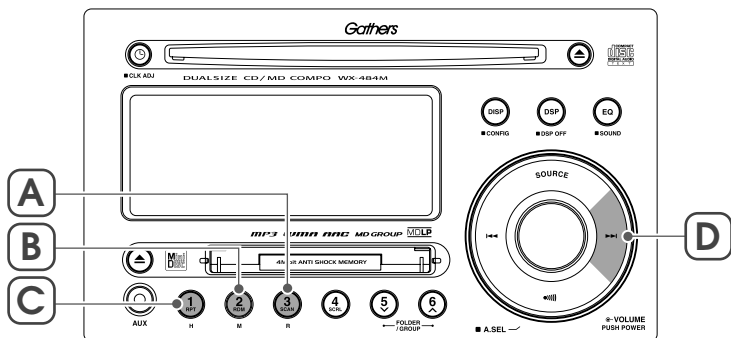
（グループ登録済みMDのみ）

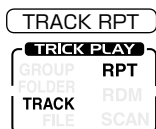
グループを順に選びます。（グループサーチ）

前のグループ　次のグループ

押すたびに、グループが順番に替わります。

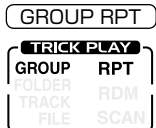
知識 グループサーチは「コンフィグ設定」（→38ページ）で"MD GROUP"項目を"ON"に設定して、グループ登録済みMDを再生しているときに操作できます。

MDを聴く

曲を繰り返し聴く

現在聴いている曲を繰り返し再生します。（トラックリピートプレイ）

押すたびに、トラックリピートプレイがオン／オフされます。
トラックリピートプレイをオンにするとトリックプレイインジケーターが点灯します。

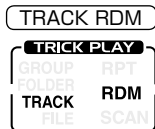
- トラックリピートプレイを解除するとトリックプレイインジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。
- トラックリピートプレイは下記の操作を行うと解除されます。
  – トラックサーチ、マニュアルサーチ、またはグループサーチを行う。
  – グループリピートプレイ、トラックランダムプレイ、グループランダムプレイまたはスキャンプレイを行う。
  – MDを取り出す。

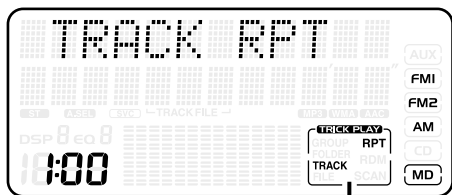
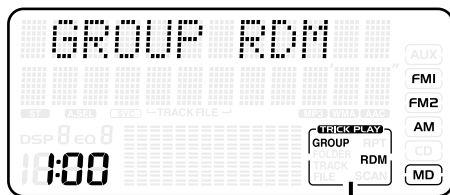
グループ内の曲を繰り返し聴く（グループ登録済みMDのみ）

現在聴いているグループ内の曲を繰り返し再生します。（グループリピートプレイ）

１秒以上押すたびに、グループリピートプレイがオン／オフされます。
グループリピートプレイをオンにするとトリックプレイインジケーターが点灯します。

- グループリピートプレイは「コンフィグ設定」（→38ページ）で “MD GROUP” 項目を “ON” に設定して、グループ登録済みMDを再生しているときに操作できます。
- グループリピートプレイを解除するとトリックプレイインジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。
- グループリピートプレイは下記の操作を行うと解除されます。
  – グループサーチを行う。
  – トラックリピートプレイ、トラックランダムプレイ、グループランダムプレイまたはスキャンプレイを行う。
  – MDを取り出す。

曲をランダムに聴く

MD内またはグループ内の曲をランダムな順で再生します。（トラックランダムプレイ）

押すたびに、トラックランダムプレイがオン／オフされます。
トラックランダムプレイをオンにするとトリックプレイインジケーターが点灯します。

- （▶▶|）を押すと、次の曲をランダムに選択します。
- グループ登録済みMDでは、現在再生しているグループからトラックランダムプレイを開始します。グループ内の全曲を再生すると、次のグループ内の曲をランダムな順で再生します。

トリックプレイインジケーター

トリックプレイインジケーター

- トラックランダムプレイを解除するとトリックプレイインジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。
- トラックランダムプレイは下記の操作を行うと解除されます。
  - グループサーチを行う。
  - トラックリピートプレイ、グループリピートプレイ、グループランダムプレイまたはスキャンプレイを行う。
  - MDを取り出す。

全グループ内の曲をランダムに聴く
（グループ登録済みMDのみ）

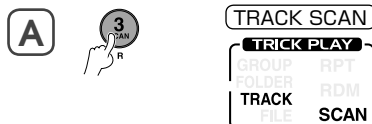
グループ登録済みMDを再生中に全グループ内の曲をランダムな順で再生します。
（グループランダムプレイ）

１秒以上押すたびに、グループランダムプレイがオン／オフされます。
グループランダムプレイをオンにするとトリックプレイインジケーターが点灯します。

知識

- （▶▶I）を押すと、次の曲をランダムに選択します。
- グループランダムプレイは「コンフィグ設定」（→38ページ）で “MD GROUP” 項目を “ON” に設定して、グループ登録済みMDを再生しているときに操作できます。
- グループランダムプレイを解除するとトリックプレイインジケーターが消灯して、通常の再生に戻ります。

曲を探す

MDまたはグループ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつ再生して曲を探します。（スキャンプレイ）

1 スキャンプレイを開始します

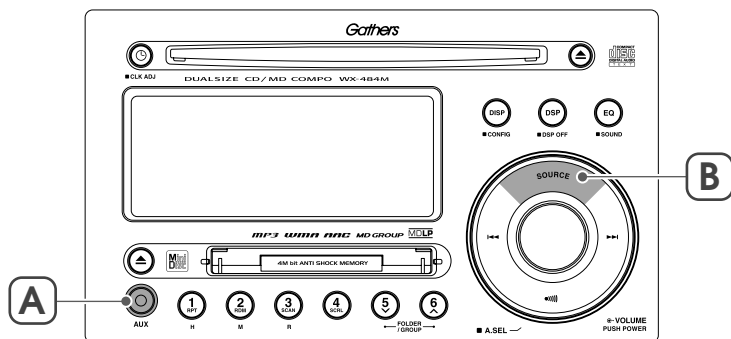
トリックプレイインジケーターが点灯して、スキャンプレイが始まります。

2 聴きたい曲のところで…

トリックプレイインジケーターが消灯して、その曲から再生します。

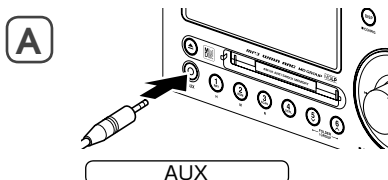
知識

- MD内またはグループ登録済みMDではグループ内の全曲をスキャンプレイすると通常の再生に戻ります。
- スキャンプレイは下記の操作を行うと解除されます。
  - トラックサーチ、グループサーチまたはマニュアルサーチを行う。
  - トラックリピートプレイ、グループリピートプレイ、グループランダムプレイまたはグループランダムプレイを行う。
  - MDを取り出す。
  - ソースモードを替える。
  - 電源を切る。

外部入力音声を聴く

外部入力音声を聴く(AUX)

AUX端子に接続した外部機器の音声を聴くことができます。

AUX端子にケーブルを接続していないとき

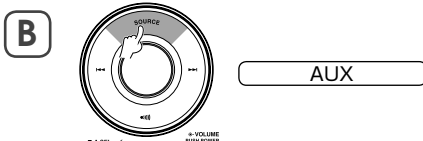
AUX

AUX端子にケーブルを接続するとAUXソースに替わります。

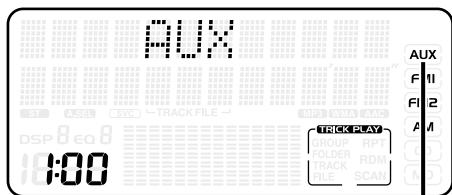
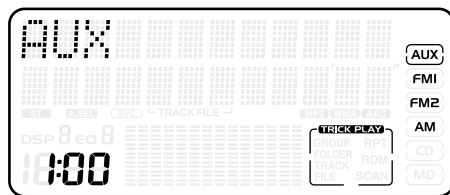
注意

- AUX端子に接続するケーブル（市販品）は、ステレオミニプラグ（φ3.5mm、3極）で抵抗が入っていないケーブルを使用してください。抵抗入りのケーブルは使用しないでください。

- AUX端子に接続する機器の音量設定は最小にして接続後に調節してください。接続した機器の音量設定が大きいまま本機に接続すると大きな音量で鳴る場合があります。

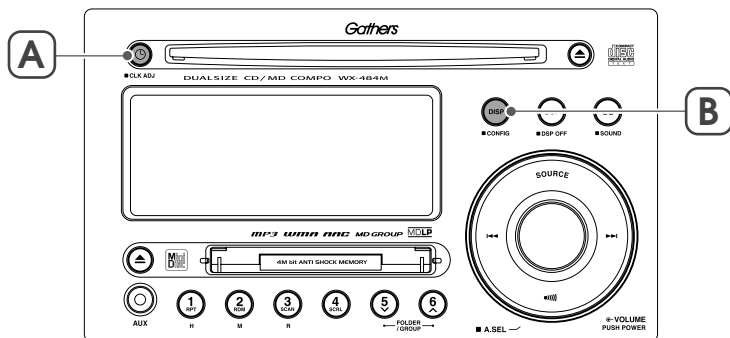
- AUXソースは、音量の調節が独立しています。「音量を調節する」（→16ページ）を参照してAUX用に音量を調節してください。
- オーディオの電源がオフ中は、AUX端子にケーブルを接続してもAUXソースに替わりません。

AUX端子にケーブルを接続しているとき

“AUX”と表示されるまで数回押します。
AUXソースに替わります。

知識 AUX端子にケーブルを接続しているとAUXインジケーターが点灯します。

外部機器を取り外す

AUX端子に接続した外部機器と接続ケーブルを取り外します。

AUXモードにする前のソース（音源）モードに戻ります。

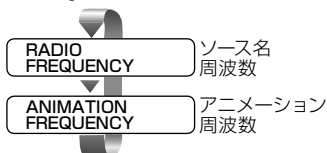
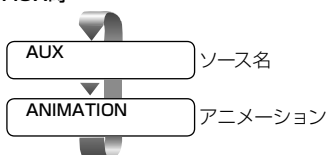
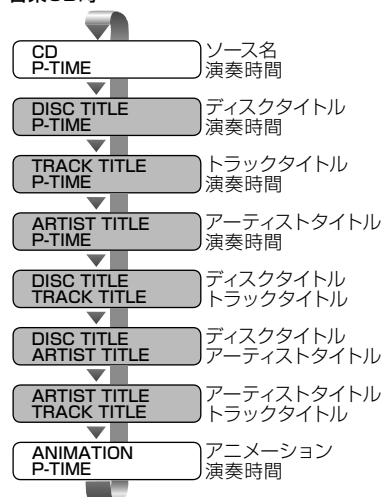
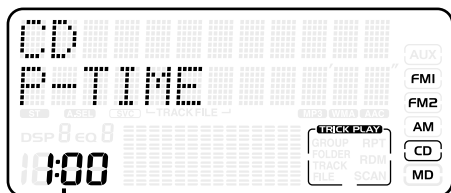
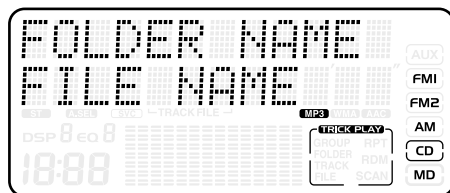
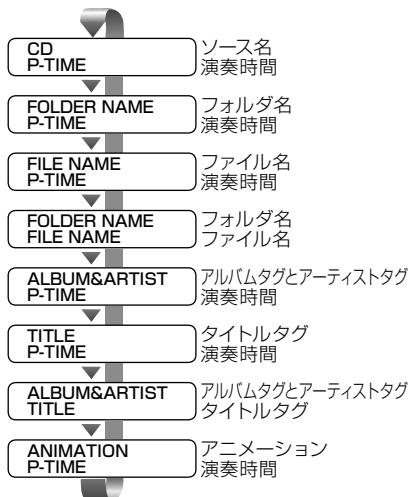
表示部の設定

時計表示を切り替える

時計表示を消します。
もう一度押すと時計を表示します。

初期状態は時計を表示します。

文字表示を切り替える

表示される文字情報を切り替えます。

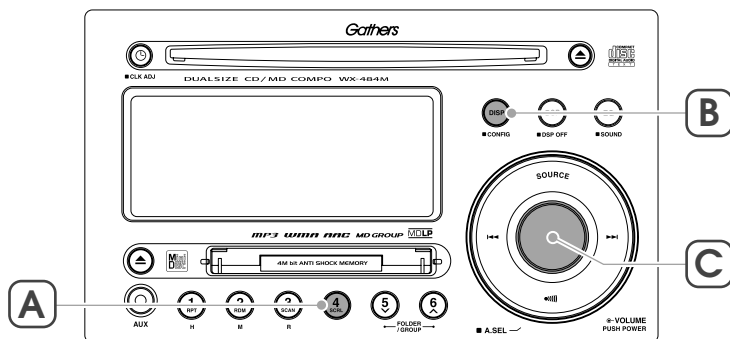
押すたびに、表示項目が次のように替わります。

音楽CD時

- 色が塗られている項目は、CD TEXTディスクを再生しているときに選択できます。
- タイトル表示で、文字情報が記録されていないと“NO TITLE”と表示されます。

オーディオファイル時

知識

- タグ表示で、文字情報が記録されていないと“NO TAG”と表示されます。
- WMAファイルのアルバムタグには対応しておりません。WMAを再生中にアルバムタグを選択すると“NO TAG”と表示されます。

MD時

知識

- 色が塗られている項目は、「コンフィグ設定」（→38ページ）で“MD GROUP”項目を“ON”に設定して、グループ登録済みMDを再生しているときに選択できます。
- タイトル表示で、文字情報が記録されていないと“NO TITLE”と表示されます。

表示部の設定

スペアナ表示を切り替える

スペクトラム アナライザを切り替えます。

1 コンフィグモードにします

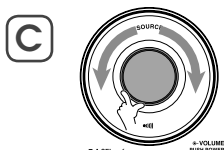
CONFIG

“CONFIG”と表示されるまで押し続けます。

2 スペアナ切り替えモードにします

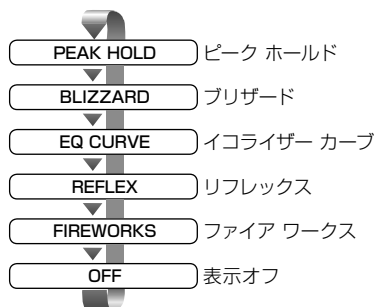
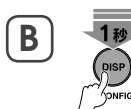
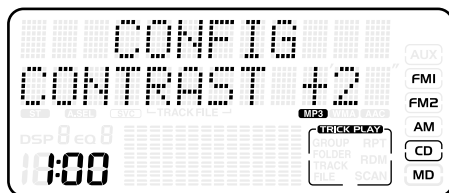
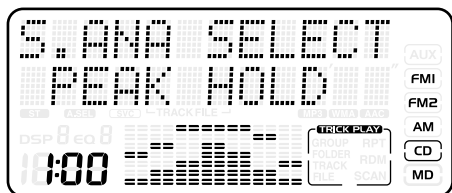
S.ANA SELECT

“S.ANA SELECT”と表示されるまで数回押します。

3 スペアナ表示を選択します

回すたびに、スペアナ表示が次のように替わります。

PEAK HOLD	ピーク ホールド
BLIZZARD	ブリザード
EQ CURVE	イコライザー カーブ
REFLEX	リフレックス
FIREWORKS	ファイア ワークス
OFF	表示オフ

知識

- 初期設定は“PEAK HOLD”です。
- “EQ CURVE”は「イコライザーカーブを呼び出す」(→19ページ)で設定したカーブ、または「音質を調整する」(→18ページ)のBAS、MID、TREで調整したカーブを表示します。

4 コンフィグモードを終了します

１秒以上押し続ける、または７秒間以上何も操作しないと、コンフィグモードが終了します。

コントラストの設定

表示部のコントラストを設定します。

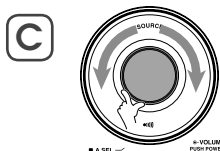
1 コンフィグモードにします

“CONFIG”と表示されるまで押し続けます。

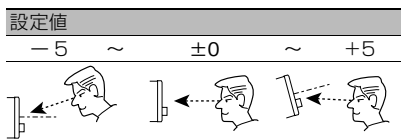
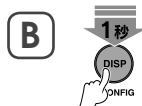
2 コントラスト調整モードにします

CONTRAST

“CONTRAST”と表示されるまで数回押します。

3 コントラストを設定します

本機を見る角度に合わせてコントラストを設定します。

設定値				
−5	～	±0	～	+5

初期設定は“+2”です。

4 コンフィグモードを終了します

１秒以上押し続ける、または７秒間以上何も操作しないと、コンフィグモードが終了します。

テキストスクロール

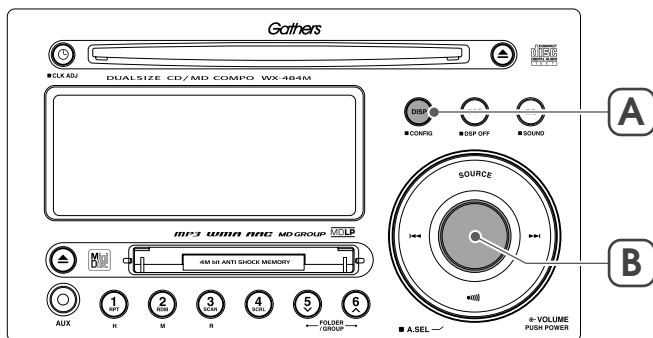
CD、MDやオーディオファイルを聴いているとき、曲名など文字情報をスクロールして表示させます。

1 表示内容を選択します

「文字表示を切り替える」（→34ページ）を参照してタイトルやタグを選択します。

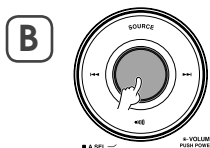
2 スクロール表示します

- 表示項目が周波数、演奏時間およびアニメーションではスクロールできません。ディスクタイトル、ファイル名やタイトルタグなど文字情報を選択してください。
- タイトルまたはタグに文字情報がないと“NO TITLE”または“NO TAG”と表示されます。文字情報がないときは、スクロールできません。
- スクロール中は表示文字によっては見にくくなる場合があります。
- 「コンフィグ設定」（→38ページ）の“A.SCROLL”項目で、スクロールを繰り返すようにも設定できます。

構成設定

コンフィグ設定

操作時の確認音など、各種の機能を設定します。

1 設定する項目で電源をオン/オフします

B

手順3の設定する項目に合わせて電源をオンまたはオフします。

2 コンフィグモードにします

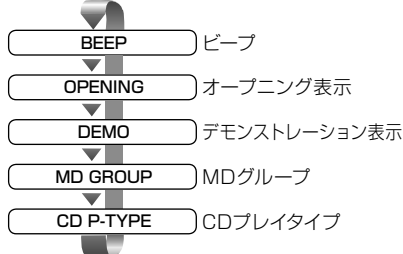
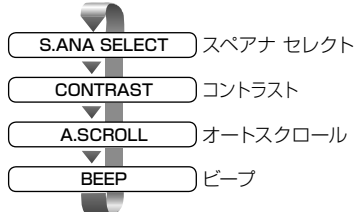
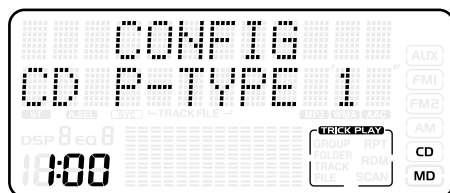
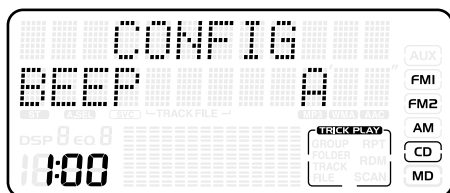
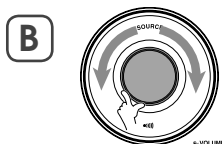
A

CONFIG

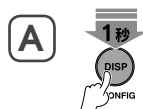
“CONFIG”と表示されるまで押し続けます。

3 設定項目を選択します

押すたびに、設定項目が次のように替わります。

オーディオの電源オフ時

オーディオの電源オン時

4 値を設定します

設定項目	設定値
BEEP （操作確認音の設定）	**A** / B / OFF
OPENING （電源オン時の表示設定）	OFF / **ON**
DEMO （電源オフ中の表示設定）	OFF / **ON**
MD GROUP （MDグループ機能の設定）	**OFF** / ON
CD P-TYPE （CDの読み込み設定）	**1** / 2
S.ANA SELECT （スペクトラムアナライザー表示の選択）	→ 36 ページをご覧ください。
CONTRAST （表示部のコントラスト設定）	→ 37 ページをご覧ください。
A.SCROLL （オートスクロール設定）	**OFF** / ON

（太字は初期設定値）

5 コンフィグモードを終了します

１秒以上押し続ける、または７秒間以上何も操作しないと、コンフィグモードが終了します。

知識 詳しい機能については「用語」（→ 42 ページ）をご覧ください。

操作のしかた

構成設定

オーディオファイルについて

本機ではオーディオファイル（MP3/WMA/AAC）を再生することができます。
使用できるオーディオファイルやメディア、フォーマットには制限がありますので以下のことに注意してください。

再生できるオーディオファイル

MP3フォーマット

形式	MPEG 1, MPEG 2 Audio Layer 3規格
サンプリング周波数	8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 (kHz)
ビットレート	8〜320 (kbps) / VBR*

WMAフォーマット

形式	Windows Media™ Audio 準拠
サンプリング周波数	32, 44.1, 48 (kHz)
ビットレート	48〜192 (kbps) / VBR*
コピープロテクト	コピープロテクト（著作権保護）されたファイルは再生できません、設定をオフにしてください。

Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常に再生できない場合があります。詳しくは「用語」（→42ページ）をご覧ください。

AAC-LCフォーマット

形式	拡張子が“.m4a”ファイルのAAC-LCフォーマットのもの
サンプリング周波数	16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 (kHz)
ビットレート	32〜320 (kbps)
コピープロテクト	コピープロテクト（著作権保護）されたファイルは再生できません。

アドバイス

- オーディオファイルと認識して再生するファイルは、“.MP3”、“.WMA”または“.M4A”の拡張子が付いたものだけです。（拡張子は大文字と小文字どちらでも構いません）
- オーディオファイル以外のファイルに、“.MP3”、“.WMA”、または“.M4A”の拡張子を付けないでください。これらの拡張子を付けると、オーディオファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

＊ VBR（可変ビットレート）形式では、転送ビットレートに制限があります。ファイル（ストリーム）中のMP3/WMAビットレートが上記の値に収まっているファイルのみ再生できます。ファイル（ストリーム）中に上記のMP3/WMAビットレートから外れる部分があると正常に再生できません。

使用できるメディアとフォーマット

オーディオファイルを収録するためのメディアとフォーマットは下記です。また、ファイルとフォルダの構成には以下の制限があります。

メディア	CD-R、CD-RW
フォーマット	● ISO 9660 Level 1 ● ISO 9660 Level 2 ● Joliet ● Romeo ● ロングファイルネーム
ファイルとフォルダの構成制限	● 最大ディレクトリ階層：8階層 ● 1フォルダ中の最大ファイル数：255 ● 最大フォルダ数：100

- CD-RWの簡易フォーマットで作成されたメディアは再生できません。
- 何も記録されていないCDメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数カナ文字で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。
なお、ファイル名/フォルダ名は64文字まで表示可能です。（区切り文字“.”と拡張子3文字を含みます）

- ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。
- 文字数は1byte文字を使用した場合です。

オーディオファイルの曲情報表示

MP3	MP3 ID3 Tag v1.0/1.1	30文字
WMA	WMAコンテンツプロパティ	30文字
AAC-LC	iTunes m4a メタデータ（曲情報）	30文字

なお、表示できる文字は英数カナ文字です。

文字数は1byte文字を使用した場合です。

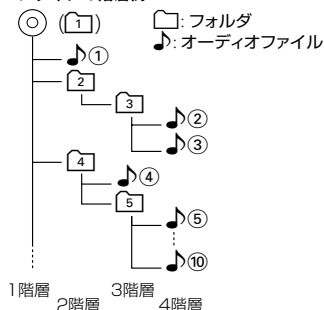
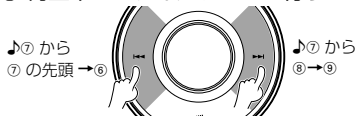
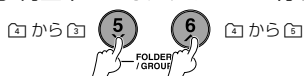
メディアに書き込むファイルについて

オーディオファイルが収録されているメディアを挿入すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。このため、メディアに多くのフォルダやファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。

MDグループについて

オーディオファイルを再生する順番

再生などでファイルやフォルダが選択される順番は、メディアに書き込まれた順番になります。
このため、予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。
PCの使用環境にもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭に再生する順番を入力してから、CD-R/RWに書き込むことで再生する順番を設定できることがあります。
下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディアで操作を行った場合は次のようになります。

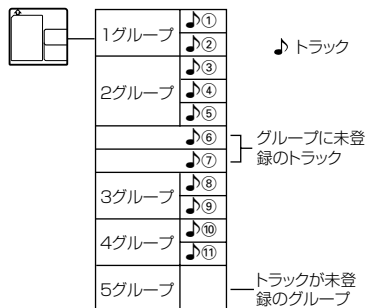
メディアの階層例

♪⑦ 再生中にファイルサーチを行うと…

♪④ 再生中にフォルダサーチを行うと…

本機では、グループ化されたMD（グループ登録済みMD）からグループを選んで、聴きたい曲をすばやく選べるグループ機能を搭載しています。（MDの作成方法はグループ機能を搭載した編集機などの取扱説明書をご覧ください）

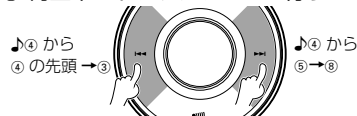
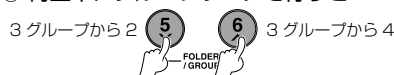
最大再生可能グループ数

本機で再生できるグループ数は50番目までです。51番目以降に登録されているグループは再生できません。

グループ登録された曲を再生する順番

以下のようなグループで作成されたディスクでトラックサーチ、およびグループサーチを行った場合は次のようになります。なお､MDグループ機能は｢コンフィグ設定｣（→38ページ）の“MD GROUP”項目を“ON”に設定しているときに使用できます。

知識

- MDグループ機能を“ON”に設定していると、グループに登録していないトラックは再生されません。MDグループ機能を“OFF”に設定するとすべての曲を聴くことができます。
- トラックが登録されていないグループは、グループサーチでは選択できません。

♪④ 再生中にトラックサーチを行うと・・・・

♪⑧ 再生中にグループサーチを行うと・・・・

用語

共通

AAC、AAC-LC
（エーエーシー、エーエーシー エルシー）
正式名「Advanced Audio Coding」、「AAC - Low Complexity」の略称です。
デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。
使用できるAACのフォーマットなどは「オーディオファイルについて」（→40ページ）をご覧ください。
本機では、コピープロテクト（著作権保護）されたファイルの再生はできません。

CD TEXT
（CD テキスト）
音楽用のCDに曲名やアーティスト名など文字情報を記録する規格です。

DSP (Digital Signal Processor)
（ディエスピィ：デジタル シグナル プロセッサー）
音楽信号をデジタル処理することです。これにより、反射音や残響音などの音響効果を作り、擬似的にコンサートホールなどの音場空間を作り出します。

MDLP
（MD エルピィ）
MDの録音方式の規格です。
本機ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDをプレイできます。

MP3
（エムピィスリー）
正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。
MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。
使用できるMP3のフォーマットなどは「オーディオファイルについて」（→40ページ）をご覧ください。

MP3 ID3 Tag
（エムピィスリー アイディスリー タグ）
MP3ファイルの情報データです。曲のタイトルやアーティスト名、収録アルバム名などが記録されています。

SVC（Speed-sensitive Volume Compensation）
（エスブイシー：車速連動ボリューム補正）
車の速度が速くなると、ロードノイズなどが大きくなり音楽が聞こえにくくなります。SVC機能は、車の速度に感応してボリュームを自動的に調整します。LOW、MID、HIGHとボリューム増加量が大きくなります。

WMA
（Windows Media ™ Audio）
米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。
使用できるWMAのフォーマットなどは「オーディオファイルについて」（→40ページ）をご覧ください。
本機では、コピープロテクト（著作権保護）されたファイルの再生はできません。「コピープロテクト」を見て、コピープロテクトを無効にして作成してください。
また、Windows Media™ Player 9以上のProfessional（マルチチャンネル）、Lossless（可逆圧縮）、Voice形式を使用すると再生できません。

WMAコンテンツプロパティ
WMAファイルの情報データです。曲のタイトルやアーティスト名などが記録されています。

コピープロテクト（著作権保護）
Windows Media™やAAC-LCでは、音楽ファイルなどのコンテンツを保護するためにデジタル著作権管理(DRM) 機能があります。
本機は音楽配信などのDRM（著作権保護）が付いたWMAやAACファイルの再生ができません。
WMAを作成するときはDRM（著作権保護）をオフにしてください。

Windows Media™ Player 8での設定方法
「ツール」→「オプション」、「音楽のコピー」タブ内の「コンテンツを保護する」のチェックを外してください。

Windows Media™ Player 9 / 10での設定方法
「ツール」→「オプション」、「音楽の取り込み」タブ内の「取り込んだ音楽を保護する」のチェックを外してください。

オーディオファイル
本書に書かれている「オーディオファイル」とは、CD-R/RWに記録されたMP3、WMAおよびAACファイルのことです。

交通情報
高速道路などでは決められた周波数で交通情報を放送しています。MDやCDを聴いていても、すばやく交通情報を聴くための機能です。

コンフィグ設定

BEEP
(ビープ)
ボタンを操作したとき、押されたことを確認できるように確認音が鳴る機能です。
A：“ピッ”または“ピー”と音が鳴ります。
B：多彩な音色で鳴ります。
OFF：うるさく感じたときに設定します。ボタンを1秒（または0.5秒、2秒）以上押したときやモードが変わるときのみ、“ピッ”または“ピー”と音が鳴ります。

OPENING
(オープニング)
電源をオンにしたときの、オープニング表示の有無を設定できます。

DEMO
(デモンストレーション)
電源をオフにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

MD GROUP
(MD グループ)
この機能をオンにしておくと、グループ登録済みMDを再生中に、グループサーチ、グループリピートプレイ、およびグループランダムプレイのMDグループ機能を使うことができます。
このとき、グループに未登録の曲は再生されませんので、何らかのグループに登録するか、この機能をオフにしてください。
MDグループ機能については「MDグループについて」(→41ページ)もご覧ください。

CD P-TYPE
(CD プレイタイプ)
CDの認識方法を設定します。通常は“CD P-TYPE 1”でお使いください。

ディスク	“CD P-TYPE 1”	“CD P-TYPE 2”
音楽CD	音楽CDを再生	音楽CDを再生
MP3/WMA/AAC	MP3/WMA/AACを再生	音楽CDとして再生（無音）
音楽CD/MP3/WMA/AAC混在	作成されたディスクによりMP3/WMA/AACまたは音楽CDのどちらかを再生	音楽CDを再生

CD標準規格に合致しない特殊仕様のCD（各種コピーコントロールCD）で正常に再生できない場合、“CD P-TYPE 2”に設定すると強制的にCDと認識して再生できることがあります。

CONTRAST
(コントラスト)
表示部のコントラスト（明暗の差）を設定することができる機能です。
車に取り付けた角度に合わせて、表示を見やすいように設定してください。

A.SCROLL
(オート スクロール)
表示部にディスクタイトル、アーティストタイトル、トラックタイトル、グループタイトル、フォルダ名、ファイル名、タイトルタグ、アーティストタグ、またはアルバムタグを選択しているとき、スクロールして表示する機能です。
ON：スクロール表示を繰り返し行います。
OFF：表示が変わったときだけ1回スクロール表示します。

故障かな？と思ったら

	こんなとき	どうして	こうします
共通	電源がオンにならない	ヒューズが切れている。	販売店にヒューズの交換を依頼してください。
		エンジンスイッチをオンにしていない。	エンジンスイッチをオンにしてください。
	音が出ない／音が小さい／“MUTE”表示になる	音量が最小になっている。	音量を適度に上げてください。
		“FAD”、“BAL”が片側に片寄った設定になっている。	“FAD”（フェダー）、“BAL”（バランス）を調整してください。（→18ページ）
		リモートコントロールスイッチや接続した機器などのミュート機能が働いている。	ミュート機能を操作してください。または、接続した機器の接続や設定を確認してください。ミュート機能を解除できない場合は販売店へご相談ください。
	音質が悪い（音が歪む）	音量が大きすぎる。	適正音量で使用してください。
	サウンド調整の“BAS”、“MID”、“TRE”項目が表示されない	イコライザーカーブを設定している。	「イコライザーカーブを呼び出す」（→19ページ）を見て、“OFF”に設定してください。
ラジオ	チューナーの感度が悪い、または雑音が入る*	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分伸ばしてください。
		電波が弱い。	電波状態の良い周波数を受信してください。
		受信周波数が合っていない。	放送局の周波数を確認して、周波数を合わせてください。
	オートセレクトで放送局を登録できない／“----”表示になる	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分伸ばしてください。
		電波が弱い。	電波状態が回復してから再度、オートセレクトしてください。
AUX	AUXモードに切り替わらない	AUX端子にケーブルを接続していない。	AUX端子にケーブルを接続してからAUXソースに切り替えてください。
		接続ケーブルの差し込みが不十分。	接続ケーブルのプラグを確実に差し込んでください。
		ステレオミニプラグ以外を使用して接続している。	ステレオミニプラグ（3極）を使用して接続してください。
	AUXの音声が小さい	抵抗入りのケーブルを使用して接続している。	抵抗が入っていないケーブルを使用してください。
		AUX用の音量を小さくしている。	AUXソースは、音量の調節が独立しています。AUX用に音量を調節してください。
		AUX端子に接続した機器の音量が小さくなっている。	接続した機器の音量を適度に上げてください。
	AUXの音声が片側からしか出ない	モノラルミニプラグを使用して接続している。	ステレオミニプラグを使用して接続してください。

知識

＊ FM放送はAM放送と比べるとビルや山などの影響を受けやすく、障害物の裏側などに入ると雑音が出ることがあります。また、FM放送は受信できる範囲が狭く、長距離ドライブなどでは走行中に電波が届かなくなり、雑音が出ることがあります。

	こんなとき	どうして	こうします
音楽CD	CDモードに切り替わらない	CDが挿入されていない。	CDを挿入してください。
	CDが入らない	すでにCDが入っている。	入っているCDを取り出してから入れてください。
		CDが反っている。	反ったCDは使用しないでください。
	CDが再生できない	CDに傷や汚れがある。	「CDのお手入れ」（→9ページ）を見て、クリーニングしてください。
	CD-R、CD-RWが再生できない	ファイナライズ処理を行っていない。	ファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーの説明書をご覧ください。
	CDのプレイ時の音質が悪い （プレイ時にノイズが入る）	CD自身の音質。	他のCDを再生して問題がなければ、そのCDの問題です。
		CDに傷や汚れなどが付いている。	「CDのお手入れ」（→9ページ）を見て、クリーニングしてください。
		CDが反っている。	反ったCDは使用しないでください。
	選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない	ランダムプレイになっている。	「曲をランダムに聴く」（→27ページ）を見て、ランダムプレイを解除してください。
	振動により音が飛ぶ	CDに傷や汚れなどが付いている。	「CDのお手入れ」（→9ページ）を見て、クリーニングしてください。
		CDが反っている。	反ったCDは使用しないでください。
	CDの再生が1曲目に戻る	「コンフィグ設定」の“CD P-TYPE”項目の設定を行った。	「コンフィグ設定」（→38ページ）の“CD P-TYPE”の設定を行うとCDの再生が1曲目に戻ります。
	文字表示で“DISC TITLE”、“ARTIST TITLE”、“TRACK TITLE”項目が表示されない	情報が記録されていない音楽CDを再生している。	CD TEXTが記録された音楽CDのときに選択できます。

故障かな？と思ったら

こんなとき		どうして	こうします
オーディオファイル（MP3／WMA／AAC）	オーディオファイルが再生できない	オーディオファイルに拡張子が付いてない。	MP3ファイルには“.MP3”を、WMAファイルには“.WMA”を、AACファイルには“.M4A”を付けてください。
		CDに傷や汚れがある。	「CDのお手入れ」（→9ページ）を見て、クリーニングしてください。
		サポートしていないファイルを再生しようとした。	「再生できるオーディオファイル」（→40ページ）を見て、再生できるファイルを作成してください。
		“CD P-TYPE 2”に設定している。	「コンフィグ設定」（→38ページ）を見て、“CD P-TYPE”項目を“1”に設定してください。
	オーディオファイルを再生中に音飛びする	CDに傷や汚れがある。	「CDのお手入れ」（→9ページ）を見て、クリーニングしてください。
		CDが反っている。	反ったCDは使用しないでください。
	オーディオファイルを再生時に雑音が入る/音が出なくなる	オーディオファイル以外のファイルに“.MP3”、“.WMA”または“.M4A”拡張子が付いている。	MP3/WMA/AACファイル以外のファイルに付いている“.MP3”、“.WMA”または“.M4A”拡張子を消去してください。
		サポートしていないファイルを再生しようとした。	「再生できるオーディオファイル」（→40ページ）を見て、再生できるファイルを作成してください。
	早送り早戻しができない	AACファイルで早送りや早戻ししている。	AACファイルでは早送り、早戻しの操作はできません。
	フォルダ名/ファイル名が正しく表示されない	ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。	ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠したディスクを使用してください。（→40ページ）
		ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。	ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。
	演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない	オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。	—
	オーディオファイルを再生するまで時間がかかる	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
	オーディオファイルが順番どおりに再生されない	プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。	ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“01”～“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。
	CD-RWに記録したオーディオファイルが再生されない	CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行ったため。	CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。
	“COPY PROTECT”と表示してWMA/AACファイルが再生されない	コピープロテクトされているWMA/AACファイルを再生している。	Windows Media™ AudioおよびAAC-LCの著作権保護されたファイルは再生できません。

	こんなとき	どうして	こうします
MD	MDモードに切り替わらない	MDが挿入されていない。	MDを挿入してください。
	MDが入らない	すでにMDが入っている。	入っているMDを取り出してから入れてください。
		向きを間違えて入れようとした。	MDのシャッターを右側にしラベル面を上側にして、矢印の方向に入れます。
	MDのプレイ時の音質が悪い(プレイ時にノイズが入る)	MD自身の音質。	他のMDを再生して問題がなければ、そのMDの問題です。
	MDを入れてもピー音がして再生できない	Hi-MD形式でフォーマットしたMDを再生している。	Hi-MDには対応していません。従来のMDディスクでもHi-MD形式でフォーマットすると再生できなくなります。従来のMD方式で録音してください。
	選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない	ランダムプレイになっている。	「曲をランダムに聴く」(→30ページ)または「全グループ内の曲をランダムに聴く」(→31ページ)を見て、ランダムプレイを解除してください。
		グループに登録されていない。	聴きたい曲を何らかのグループに登録するか、「コンフィグ設定」(→38ページ)の“MD GROUP”項目を“OFF”に設定してください。
	MDの再生が1曲目に戻る	「コンフィグ設定」の“MD GROUP”項目の設定を行った。	「コンフィグ設定」(→38ページ)の“MD GROUP”の設定を行うとMDの再生が1曲目に戻ります。
	MDグループ機能が働かない	「コンフィグ設定」の“MD GROUP”項目を“OFF”に設定している。	「コンフィグ設定」(→38ページ)の“MD GROUP”項目を“ON”に設定してください。
	グループ登録済みMDが登録した順番どおりにプレイされない	グループ機能を搭載していない編集機などで編集を行った。	グループ機能を搭載した編集機などで、グループを登録しなおしてください。
		グループタイトルに“//”が付いている。	グループ情報が正しく認識できないため、グループタイトルに“//”は付けないでください。
	タイトルが正しく表示されない	タイトルを漢字ひらがなで登録している。	漢字ひらがなのタイトルは表示できません。半角英数カナ文字でタイトルを登録してください。
	ディスクタイトルが表示できない	ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されている。	ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されているMDでは、ディスクタイトルが表示できないことがあります。グループ機能を搭載した編集機などでディスクタイトルを登録し直してください。

メッセージについて

本機の状態や異常の発生などをディスプレイにメッセージで表示します。

状態を以下の内容でお知らせします。

表示	ソースモード	内容
UNSUPPORTED	CD/MD	オーディオファイルが記録されていないCDまたは、再生できないフォーマットのCDなどを挿入した。 ➡「オーディオファイルについて」（→40ページ）を見て、CDを作り直してください。 ➡「曲を選ぶ」（→25ページ）を見て、次の曲に替えてください。次のファイルが再生できる場合があります。 データMDなど再生できないMDを挿入した。 ➡音楽用のMDを挿入してください。
COPY PROTECT	CD	コピープロテクトされているWMA/AACファイルを再生しようとした。 Windows Media™ AudioおよびAAC-LCの著作権保護ファイルです。
BLANK DISC	MD	演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。 ➡ほかのディスクを使用してください。
NO TAG	CD	曲名などタグ情報が記録されていないオーディオファイルを再生している。
NO TITLE	CD/MD	曲名などタイトルがCDまたはMDに記録されていないディスクを再生している。
MUTE	共通	リモートコントロールスイッチや接続した機器などのミュート機能が働いている。 ➡ミュート機能を操作してください。または、接続した機器の接続や設定を確認してください。ミュート機能を解除できない場合は販売店へご相談ください。

異常の発生を以下の内容でお知らせします。

表示	内容
DISC ERROR	ディスクが異常に汚れている、ディスクが裏返しになっている、ディスクにキズが多く付いている。 ➡ディスクを確認してください。
MECH ERROR	何らかの原因で正常に動作しない。 ➡CDまたはMDの ▲（イジェクト）ボタンを押してください。メカエラーが解除されます。 ➡通常の操作で繰り返し発生する場合は、販売店へご相談ください。
AMP CHECK	本機の内部が一定温度以上になると保護回路が働き、音量を18まで小さくします。このときにこの表示が出ます。 ➡本機の内部温度が下がると“AMP CHECK”表示が消えます。
HEAT ERROR または AMP ERROR	本機の内部が一定温度以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときにこの表示が出ます。 ➡本機の内部温度が下がるまでボリュームが最小になります。内部温度が下がると元の音量に戻ります。
DC ERROR	スピーカー出力に直流電流が流れて保護回路が働いた。 ➡エンジンキーを一度オフにしてください。DCエラーが解除されます。 ➡繰り返し発生する場合は、販売店へご相談ください。

アフターサービスについて

●調子が悪いとき

まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

●それでも調子が悪いとき

保証書記載に従い修理させていただきますのでお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

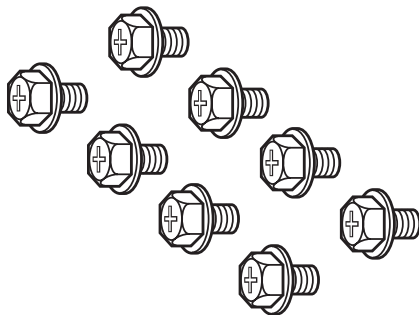
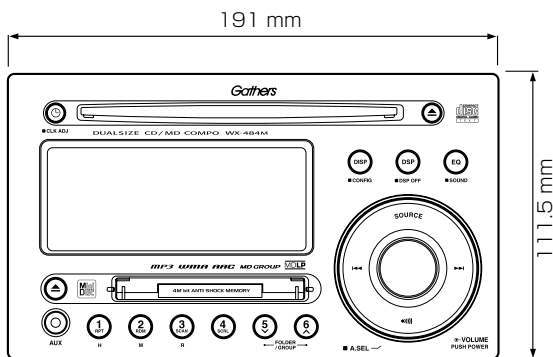
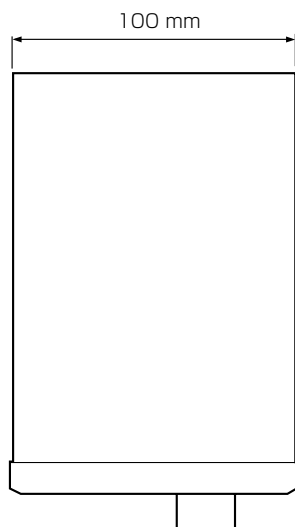
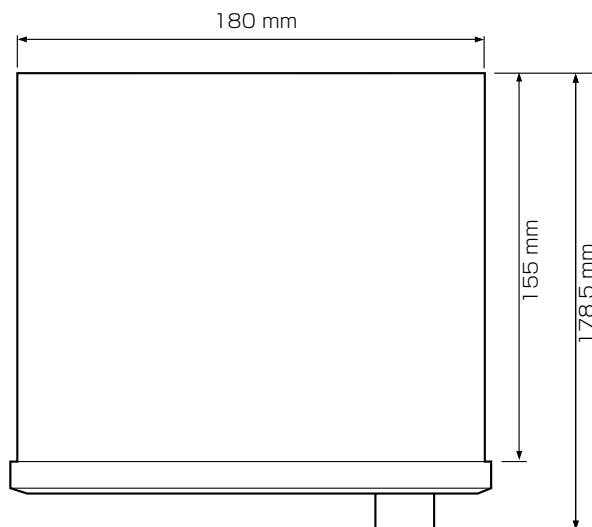
●補修用性能部品

製造打切り後、最低 6 年間保有しています。

付属品一覧

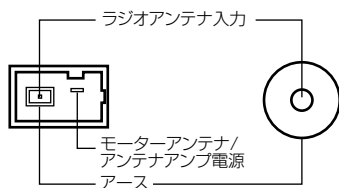
取扱説明書 .... 1 冊

取付ネジ（M5 × 8mm）........ 8個

付録

外形寸法図／コネクター配線図

●本体背面

●電源コネクター(24P)

●GT13アンテナコネクター/ JASOアンテナコネクター

付録

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0 MHz～90.0 MHz（100 kHz）
実用感度	2 dBμ
周波数特性	20 Hz～15 kHz（±4 dB）
S/N比	65 dB以上
高調波歪率	1 %以下（1 kHz）

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	522 kHz～1629 kHz（9 kHz）
実用感度	28 dBμ
S/N比	60 dB以上
高調波歪率	1 %以下（400 Hz）

MDプレーヤー部

ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz～20 kHz（±1 dB）
S/N比	90 dB以上（1 kHz）
ダイナミックレンジ	85 dB以上
高調波歪率	0.08 %以下（1 kHz）
デジタルフィルター	８倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 bit

CDプレーヤー部

ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz～20 kHz（±1 dB）
S/N比	95 dB以上（1 kHz）
ダイナミックレンジ	90 dB以上
高調波歪率	0.01 %以下（1 kHz）
デジタルフィルター	８倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 bit
MP3デコーダ	MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコーダ	Windows Media™ Audio 準拠
AACデコーダ	AAC-LC形式“.m4a”ファイル

AUX入力

周波数特性	20 Hz～20 kHz（±1 dB）
最大入力電圧	750 mV
入力インピーダンス	22 kΩ

オーディオ部

最大出力	50 W × 4
定格出力	22 W × 4（4Ω, 1kHz, 10%THD）

電源部

電源電圧	13.2 V（10.8～16.0 V）
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）	180 × 100 × 155 mm
質量（重さ）	2080 g

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間　9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元　株式会社ケンウッド　〒192-8525 東京都八王子市石川町2967番地3

PART NO. 08A00-4K0-2501-80

PART NO. B64-3670-10/01